

Meta広告 制限・停止の対処シート

Meta広告の制限や停止が起きたときに、段階と理由を読み分け、対処方法を選び、審査のリクエストを直してから出し、制限を招きにくい運用を点検するための4枚

この4枚でできること

- ☐ 制限の段階と理由4つを読み分けられる
- ☐ ビジネスサポートホームで、出ている対処方法から順に進められる
- ☐ 審査のリクエストを出す前に、直したことを整理できる
- ☐ 制限を招きにくい運用を、月に1回の点検で回せる

使う順番

連絡が来たら2ページで読み分け → 審査を出す前に3ページで整理 → 止まっていない月も4ページで点検。

目次

2	段階と理由の読み分け 4段階、理由4つ、対処方法4つ
3	審査のリクエストの前に 手順、出す前の確認、直したことの整理
4	解除後と、防ぐ運用の点検 広告を手でオン、月1回の点検、記録

数字と決まりの出どころ

この資料に載せた内容は、Metaビジネスヘルプセンターで2026年10月15日に確かめたことと、講座第27回の記事本文にあるものだけです。画面の名前や手順は時期によって変わることがあります。

段階と理由の読み分け

理由を読む前に、審査のリクエストを押さない

確かめる場所

ビジネスサポートホーム → [アカウントステータスの概要] → 制限されたアカウント → [対処方法]。連絡の中のリンクではなく、自分で開く。

制限の中身（軽い順）		当てはまる
1日の消化金額の制限、支払い単位額の減額		☐
一部の支払い機能の停止		☐
一部の広告機能の停止		☐
広告掲載機能の停止		☐
理由	中身	次の一手
ポリシーへの違反	規定に従っていない	直してから審査をリクエスト
不正アクセスの疑い	本人以外が使った疑い	本人確認、アカウントの安全を確保
二段階認証の要件	設定していない	設定すれば戻ることがある
支払いと異常な動き	失敗や異議申し立てが多い	支払い方法を確認、残りを支払う
止まったもの		当てはまる
広告アカウント		☐
ビジネスポートフォリオ		☐
ページ		☐
個人のアカウント		☐

審査のリクエストの前に

回数は限られ、結果は最終決定

手順	
1	ビジネスサポートホームの [アカウントステータスの概要]
2	制限されたアカウントを選ぶ
3	[対処方法] を開く
4	[審査をリクエスト] から送る。通常48時間以内
出す前の確認	
理由を読み、どの広告やページが当てはまるかを特定した	☐
当てはまる広告を直したか止めた。リンク先も見直した	☐
本人確認や二段階認証など、ほかの対処方法が出ていない	☐
自分がそのアカウントの管理者である	☐

直したことを事実で書き出す

どの広告・ページ	どこを	どう変えた

本人確認で求められることがあるもの＝登録したメールアドレス、SMSを受け取れる携帯電話、本人確認書類の写真、登録した支払い方法。始めたら決められた期間内に終える。

解除後と、防ぐ運用の点検

解除されても広告は自動では戻らない

解除されたら				印
その日のうちに広告マネージャを開き、キャンペーン・広告セット・広告をオンにした				☐
違反に当たっていた広告は、オンにする前に中身を確認めた				☐
翌日に配信が始まっているかを見た				☐
月に1回の点検				印
ビジネスサポートホームに制限や警告が出ていない				☐
全権限の管理者が2人以上いて、全員が二段階認証を使っている				☐
知らない人や退職した人が管理者に残っていない				☐
カードの有効期限と利用枠に余裕がある				☐
新しい広告は、出す前に広告とリンク先を点検した（第22回）				☐
日付	止まったもの	理由	対処方法	結果

確認先（2026年10月15日確認）

広告利用の制限について	facebook.com/business/help/975570072950669
停止または制限されたアカウントのトラブルシューティング	facebook.com/business/help/422289316306981
制限された広告アカウントの審査をリクエスト	facebook.com/business/help/530209463124901